

**鉄道事業者と共同キャンペーン初実施**  
**エスカレーター「みんなで手すりにつかまろう」キャンペーン**  
～エスカレーターを安全に利用するための取り組み～

森ビル株式会社は、7月29日(月)から、北海道・関東・中部・関西の27の鉄道事業者らと共同で、エスカレーターの安全利用を呼びかけるキャンペーンを実施いたします。

六本木ヒルズをはじめ、オフィスや商業施設などを運営管理する当社は、「安全・安心」を都市づくりのミッションの一つに掲げ、ハード・ソフトの両面にわたり様々な取り組みを展開しております。

取り組みの一つである「エスカレーターの安全利用」について、2009年から注意喚起シールの掲出や「エスカレーターの正しい乗り方」に関する映像上映などを行ってきました。昨年度は、社員によって安全利用を呼びかける「呼びかけ活動」や「エスカレーターの緊急停止訓練」等を実施。

今回、初めて、鉄道事業者と共同で「手すりにつかまろうキャンペーン」を実施する運びとなりました。

エスカレーターを安全に利用する取り組みは、各事業者が個別に行うのではなく、事業者間が連携・協力し、継続的に活動することが、習慣化した利用方法の意識改革へとつながると考えます。

森ビルは、全ての方が安全・安心にエスカレーターを利用できるように、またこの取り組みを通じて、安全・安心な都市づくり推進のため、今後も継続して啓発活動を実施していきます。



エスカレーターは、立ち止まって利用することを前提につくられていますが、エスカレーターの片側をあげ、歩行するということが習慣化しています。昨今、お客さまがエスカレーターをご利用になる際に、ご自身でバランスを崩して転倒されたり、駆け上がったたり、駆け下りたりした際に他のお客さまと衝突し転倒させるなどの事象も発生しています。また、片側をあげて乗ることのできないお客さまにとって危険な事故につながる場合もあるため、鉄道事業者では、2009年よりお客さま全員が、安心してエスカレーターを利用できるようキャンペーンを実施しています。

**【キャンペーン概要】 みんなで手すりにつかまろう キャンペーン**

実施期間：2013年7月29日(月)～8月31日(土)

実施事業者：北海道・関東・中部・関西の鉄道事業者27社局 他

東日本旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、京成電鉄株式会社、京王電鉄株式会社、小田急電鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社、相模鉄道株式会社、新京成電鉄株式会社、東京都交通局、札幌市交通局、北総鉄道株式会社、東葉高速鉄道株式会社、東京臨海高速鉄道株式会社、埼玉高速鉄道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、横浜高速鉄道株式会社、多摩都市モノレール株式会社、株式会社ゆりかもめ、千葉都市モノレール株式会社、名古屋臨海高速鉄道株式会社、札幌駅総合開発株式会社、一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人日本エレベーター協会

森ビル株式会社

後援：国土交通省

実施内容：共同ポスターの掲出 ほか



**【本件に関してのお問合せ先】**

森ビル株式会社 広報室 秋田

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

## 【参考】当社におけるエスカレーターへの安全利用の取り組み

当社は、「安全・安心」を都市づくりにおけるミッションの一つに掲げ、ハード・ソフトの両面にわたる様々な対策・活動を実施しており、この活動の一環として、「エスカレーターへの安全啓発活動」を実施しています。これまで、エスカレーターへの安全利用に関する取り組みは、サイン掲出や音声案内、警備員の立哨をはじめ、「エスカレーター安全啓発映像」を六本木ヒルズ内大型ビジョンで放映してきましたが、昨年夏より、「周知」「理解」「体験」を3本柱として取り組みを充実させ、今年度も継続して実施しております。

### 1 ルールの周知

#### 1 エスカレーター 「みんなで手すりにつかまろう」 キャンペーン 呼びかけ活動

利用者にエスカレーターの安全利用を呼びかけていく



### 2 リスクを知り、ルールを理解

#### 2 「エスカレーターを 安全・快適に利用するために」 啓発映像作成・上映会実施

エスカレーター事故(危険)事例を踏まえ、何故エスカレーターの安全利用が必要なのかを伝えていく  
(携帯を見ながら～等、「ながら～利用」による事故事例説明等)



### 3 リスクを体験し、ルールに納得

#### 3 エスカレーター緊急停止訓練

エスカレーター事故(危険)事例に加え、エスカレーターの緊急停止及び緊急停止ボタン操作を体感することで、リスクの過小評価を解消し、今後のエスカレーターの安全利用を考えるきっかけとする



## <当社社員による呼びかけ活動>

昨年夏より、六本木ヒルズ“メトロハット”エスカレーター乗降口にて、当社社員による「呼びかけ活動」を実施。今年度は、4月は出勤時間帯に、また、春・ゴールデンウィーク・夏・冬の繁忙期の午後帯には、当社社員によるサポートクルー活動の中で実施しております。

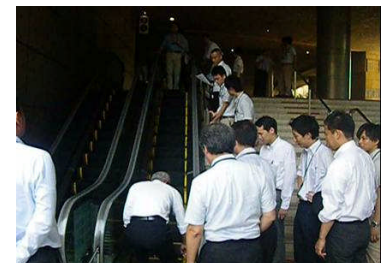
**今夏の活動期間：2013年7月13日(土)～9月1日(日)の土日祝日 13:00～18:00**

### [サポートクルー活動]

ゴールデンウィーク・夏休み・クリスマス・春休みの繁忙期に、社員が、お客様のサポートとして六本木ヒルズの案内を行います。単なる案内役ではなく、お客様の立場になって考え行動、ホスピタリティ意識の向上等を目的するとともに、お客様に安全・安心してお過ごしいただくためのヒューマンセンサーとしての役割を担います。全社員が年に1回必ず参加する活動として2004年から継続して実施しています。

## <緊急停止訓練>

エスカレーターが緊急停止した場合の機械動作、手すりにつかまっている場合とつかまっていない場合で、自身の体がどのように動くかを確認する体感訓練、エスカレーターを緊急停止させる方法などの訓練を実施、施設従業員をはじめ、オフィスワーカー、居住者等にも幅広く体験訓練に参加。今後も継続していきます。



緊急停止訓練の様子

これまでの取り組みが評価され、当社が取り組んできた「エスカレーター安全啓発キャンペーン」が、キッズデザイン賞(子ども視点の安全安心デザイン 一般部門)を受賞いたしました。

### [キッズデザイン賞]

2007年に発足した『キッズデザイン協議会(特定非営利活動法人:内閣府認証 NPO)』が主催する、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「創造性と未来を拓くデザイン」「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度。子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでも、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを対象として受賞作品を発表しています。

